

# おおむた 市議会だより

第186号

平成25年度 第3回定例会

平成25年(2013年)11月1日発行

インターネット議会中継配信中  
過去の録画\*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降



「仲間と心を一つに燃え尽きよう」  
「全力で仲間を信じ力を発揮しよう」

～上官小学校大運動会（9月28日）

## 【主な記事】

- 市政の大きな方針から生活に密着した課題まで～平成25年度議会報告会/ぎかいのわだい (2・3ページ)
- 平成24年度各会計決算議案を認定/本会議運営のあらまし (4ページ)
- 「大牟田産」を食卓や給食で/おおむた自慢 (12ページ)

も  
く  
じ

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ぎかいのわだい ..... 2<br/>市政の大きな方針から生活に密着した課題まで<br/>～平成25年度議会報告会、委員会メモ</li> <li>■ 本会議運営のあらましほか ..... 4<br/>第3回定例会、議会日誌、他議会からの行政視察、<br/>議案等の審議結果</li> <li>■ 代表質問(4人) ..... 6<br/>高口講治議員、塩塚敏郎議員、松尾哲也議員、入江裕二郎議員</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 一般質問(5人)ほか ..... 10<br/>今村智津子議員、平嶋慶二議員、森竜子議員、山口雅弘<br/>議員、境公司議員、インフォメーション</li> <li>■ 連載 おおむた自慢ほか ..... 12<br/>おおむた自慢「『大牟田産』を食卓や給食で」、編集後記</li> </ul> |
|--|---|



## 平成25年度 議会報告会

# 市政の大きな方針から

今回で3回目となる議会報告会を開催しました。昨年を上回る207人の市民の皆様にお越しいただきまして、ありがとうございます。また、報告会の周知にご協力いただいた地域の役員の方々、関係者の方々に、深くお礼申し上げます。

### 報告内容

第1部では、昨年の議会報告会で出された①光ファイバー回線未整備地域の解消について、②近代化産業遺産の保存・整備について③中学校給食センター建設等についての議会の対応と経過報告を行いました。

第2部では、議会活動や議会改革に関する取り組みについて、①三川坑跡の保存・活用に関する決議、②議会改革の取り組みを報告しました。

### 幅広い分野での意見・要望

今回もすべての会場でたくさんの意見・要望をいただきました。世界遺産登録推進事業、三川坑跡地、地域のコミュニティー、地域



(写真左) 今回は初めて大正小学校でも開催しました

の街路灯代、草刈、空家・野良猫対策、防災、学校再編、議員定数、道路の改修など、市政の大きな方針に関することから、生活に密着したことまで、約200件の意見をいただきました。

現在、議会改革特別委員会では集約・分類作業を進めています。これらをとりとまとめ、必要に応じ、直接行政各部署へ届け、また本会議や委員会等を通じて市政へ反映させていきます。また、議会への意見・要望は、議員間で共有・検討して、今後の議会活動に活かしていきます。



### 手話通訳・要約筆記の実施

今年は、手話通訳・要約筆記での報告を総合福祉センターの会場で実施しました。これは、昨年の報告会で「聴覚障害のある方も参加できるように手話通訳・要約筆記をしてほしい」という声をいただいたことで実施しました(写真上)。当日は、聴覚障害の方も参加され、意見もいただきました。今後も、開かれた議会を目指し、議会報告会のさらなる充実に努めていきます。

### 平成25年度議会報告会 参加人数

開催日	会場	男性	女性	合計
8月5日(月)	吉野小学校体育館	22	3	25
8月7日(水)	三池地区公民館	14	7	21
8月10日(土)	勝立地区公民館	13	1	14
8月19日(月)	手鎌地区公民館	20	13	33
8月21日(水)	総合福祉センター	17	2	19
8月23日(金)	大正小学校体育館	26	23	49
8月26日(月)	三川地区公民館	13	5	18
8月28日(水)	労働福祉会館	11	1	12
8月30日(金)	駿馬地区公民館	15	1	16
合計		151	56	207

※報道関係者を除く



# 生活に密着した課題まで

## 参加者は60代、70代が中心

今年には207人に参加いただきました。60歳代、70歳代で約80%を占めています。若い世代の参加も促進していくのが課題です。

## 参加者のアンケート集計結果(抜粋)

回答者数 183人 [ ]は昨年の議会報告会での回答割合(昨年の回答者数169名)

○年代 20代以下(1.1%[0.0%]) 30代(2.7%[1.2%]) 40代(2.7%[8.9%]) 50代(13.1%[14.2%]) 60代(35.5%[40.2%]) 70代~(44.3%[34.3%]) 無回答(0.6%[1.2%])

### ○開催日時について

参加しやすかった(79.8%[76.9%])  
参加しにくかった(4.9%[11.8%])  
無回答(15.3%[11.2%])

### ○内容について

満足(12.0%[13.6%]) やや満足(44.8%[52.1%])  
どちらでもない(22.4%[18.9%])  
やや不満(6.0%[5.9%]) 不満(1.1%[0.6%]) 無回答(13.7%[8.9%])

### ○市議会に関心が

もてた(36.1%[45.0%]) 少しもてた(35.0%[34.9%])  
どちらでもない(15.3%[12.4%])もてなかった(1.6%[1.2%])  
無回答(12.0%[6.5%])

## 委員会メモ

### 火災、水難、事故に備えて

〔総務委員会〕

夏から秋にかけて大会や訓練活動が続き、議会も積極的に見学しています。機敏で的確な活動を間近に見て、万一の際も心強く感じました。

【最近の大会・訓練活動】  
8/25 第21回市消防団ポンプ操法大会(中止)  
9/ 8 第1回県女性消防操法大会  
9/30 海上保安部との合同潜水訓練  
10/16 市消防署特別救助隊訓練

### 市税のコンビニ収納の開始について

〔市民教育厚生委員会〕

9月2日の委員会で、市税のコンビニ収納の開始について報告がありました。対象税目は、市県民税(普通徴収)、軽自動車税等が対象となります。平成26年4月からの開始を予定しています。なお、介護保険料及びし尿処理手数料についても同様に開始予定です。

### 道の駅「おおむた」花ぶらす館

〔都市環境経済委員会〕

8月28日の委員会で、株式会社花ぶらすの24年度事業報告、25年度事業計画及び経営再建計画等について説明を受けました。

その中で、経営再建のための具体策(8項目)ごとに実施の開始時期、行程スケジュールが示されました。

### 議会に対する意見等に応えるために

〔議会改革特別委員会〕

8月の議会報告会では、議会や議員活動、議会報告会の運営に対しての意見等もいただきました。

これらの意見等にお応えするために、議会改革の視点でそれらの対応について検討し、改善をしていきます。

## 決算特別委員会終わる

### 教室へのエアコン設置などを要望

9月18日から24日まで決算特別委員会を開催、審査しました。平成24年度一般会計決算の認定から、各特別会計の認定までの合計8件について慎重に審査を行い、幅広い視点から議論が交わされ、9月27日の本会議ですべての決算

議案を認定しました(4ページに関連記事)。審査の過程で、約50件の意見・要望が述べられました。

このうち、小中学校の普通教室のエアコン設置について、全会派及び無所属委員2名により合意形成を図りましたので、議会としての最重要の要望として、今後、市長に回答を求めます。

### 合意形成を図った最重要の要望(全文)

普通教室の空調設備(エアコン)設置については、近年の猛暑の中で学習にも支障が出ており、学校環境衛生基準にも望ましい教室の温度は10℃~30℃と基準値が示されていることから、市長部局ともしっかり検討を行い、早急な設置に向け努力されたい。

また、多額の設置費用が予想されるため、有利な国の交付金等が示されればすぐに利用できるよう常に計画案策定の準備を図られたい。



## 本会議運営のあらまし

### ■快適住マイル改修事業費の追加補助など

平成25年度第3回定例会は、9月3日に招集され、9月27日までの25日間の会期で運営しました。

今議会で審議した議案等は、24年度の各会計決算8件、快適住マイル改修事業費の追加補助など25年度の各会計補正予算、条例の制定、条例の一部改正などの議案25件、報告8件、意見書案の発議8件、人事議案1件の計50件でした。

本会議では、生活保護制度、中心市街地活性化、小・中学校の環境整備、産業振興等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む9名の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

24年度各会計決算議案は、決算特別委員会に付託し、審査を行いました。（詳細後述。3ページに関連記事）

また、本定例会中は、市長より、

「明治日本の産業革命遺産—九州・山口と関連地域」世界文化遺産の政府推薦決定の報告（9月17日）、ホークスファーム本拠地誘致のための追加補正予算提案理由説明（9月9日）、同誘致の一次審査結果報告（9月27日）について、それぞれ発言がなされました。

本会議最終日までに、意見書案2件及び報告8件を除き、議案、意見書案、諮問を、それぞれ原案どおり認定、可決、同意及び異議なき旨答申するなどして、本定例会を閉会しました。

### ■教室へのエアコン設置ほか49項目の意見・要望(決算特別委員会)

議員全員で構成する決算特別委員会（大野哲也委員長、田中正繁副委員長）を設置し、24年度の各会計決算議案8件について9月18日から24日まで審査を行いました。

審査の結果、学校教室の空調設備（エアコン）設置努力及び設置に有利な交付金等に備えた準備を求める要望のほか49項目の意見・要望を盛り込んだ委員長報告書を取りまとめ、本会議最終日にすべての決算議案を認定しました。

平成24年度各会計決算の概要（1万円未満四捨五入）

一般会計及び特別会計		歳入	歳出
一般会計		542億2,381万円	527億 640万円
特別会計	国民健康保険	167億6,176万円	167億5,629万円
	土地区画整理事業	2,249万円	2,249万円
	介護保険(介護保険事業勘定)	124億2,826万円	124億2,341万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	1,246万円	1,246万円
	後期高齢者医療	20億4,212万円	20億 74万円
病院事業債管理		22億3,490万円	22億3,490万円
事業会計		収益的収入	収益的支出
水道事業		25億8,107万円	24億2,652万円
公共下水道事業		24億5,065万円	22億 144万円

## 議 会 日 誌 （7月～9月）

<b>【7月】</b>		9日	第3回定例会本会議〔質疑質問〕
5日	総務委員会	10日	第3回定例会本会議〔質疑質問〕
8日	議会改革特別委員会	11日	第3回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
12日	都市環境経済委員会	12日	総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
17日	総務委員会、市民教育厚生委員会	17日	各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算議案を除く議案等採決〕、決算特別委員会、議会報編集委員会
18日	議会報編集委員会	18日	決算特別委員会
24日	各派代表者会	19日	決算特別委員会
<b>【8月】</b>		20日	決算特別委員会
2日	議会運営委員会、市民教育厚生委員会	24日	決算特別委員会、起草委員会
5日	総務委員会	25日	起草委員会
7日	各派代表者会	26日	起草委員会
27日	各派代表者会、議会運営委員会	27日	起草委員会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔決算議案採決、閉会〕
28日	都市環境経済委員会		
<b>【9月】</b>			
2日	市民教育厚生委員会、総務委員会、議会報編集委員会		
3日	各派代表者会、第3回定例会本会議〔開会〕		
6日	各派代表者会、議会運営委員会		

## 他議会からの行政視察(7月～9月)

月	日	自治体名	視 察 項 目
7	25	愛知県岡崎市	新大牟田駅周辺整備事業
	29	神奈川県平塚市	新大牟田駅周辺整備事業
	31	沖縄県うるま市	下水道処理場の維持管理における包括的民間委託
8	7	埼玉県入間市	地域で認知症を支える取り組み
		愛媛県新居浜市（議会事務局職員）	議会報告会
9		なし	



平成25年度大牟田市議会 第3回定例会 議案等の審議結果一覧

議案等名	会派等名	自民	公明	護憲	共産	無所属	賛成数	審議結果
		8人	5人	5人	3人	猿渡軍紀議員 城後正徳議員 吉田孝議員		
議案 第22号	平成24年度大牟田市一般会計決算の認定について	○	○	○	×	○	20	認定
第23号	平成24年度大牟田市国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	20	認定
第24号	平成24年度大牟田市土地区画整理事業特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	20	認定
第25号	平成24年度大牟田市介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	20	認定
第26号	平成24年度大牟田市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	×	○	20	認定
第27号	平成24年度大牟田市病院事業債管理特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	23	認定
第28号	平成24年度大牟田市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	23	認定
第29号	平成24年度大牟田市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	23	認定
第30号	平成25年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第31号	平成25年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第32号	平成25年度大牟田市介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第33号	平成25年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第34号	平成25年度大牟田市水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第35号	平成25年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
第36号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第37号	大牟田市スポーツ推進審議会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第38号	大牟田市市長の期末手当の特例に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第39号	大牟田市地域の元気臨時交付基金条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第40号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第41号	大牟田市滞納金督促手数料条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第42号	大牟田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第43号	大牟田市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第44号	大牟田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第45号	大牟田市ごみ散乱防止条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第46号	大牟田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第47号	大牟田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	23	全会可決
第48号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (汐待政幸氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第49号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (林田純孝氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第50号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (塚本重明氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第51号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (橋本兼雄氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第52号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (田畑健次氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第53号	財産区管理委員の選任について(東米生財産区) (川口幸男氏)	○	○	○	○	○	23	同意
第54号	平成25年度大牟田市一般会計補正予算	○	○	○	○	○	23	全会可決
諮問 第1号	人権擁護委員候補者の推薦について (浦 康之氏)	○	○	○	○	○	23	異議なし
発議 第9号	地方税財源の充実確保を求める意見書案	○	○	○	×	○	20	多数可決
第10号	過労死防止基本法の制定を求める意見書案	×	○	○	○	×	13	多数可決
第11号	集团的自衛権に関する憲法解釈を変更することに反対する意見書案	×	○	○	○	×	13	多数可決
第12号	T P P 交渉からの即時脱退と情報公開を求める意見書案	×	×	○	○	×	8	少数否決
第13号	若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書案	○	○	○	×	○	20	多数可決
第14号	大規模地震等災害対策の促進を求める意見書案	○	○	○	×	○	20	多数可決
第15号	民間保育園における保育士等の処遇改善の安定的な継続を求める意見書案	○	○	○	○	○	23	全会可決
第16号	消費税増税の実施中止を求める意見書案	×	×	○	○	×	8	少数否決
報告 第9号	平成24年度大牟田市一般会計予算継続費の精算について	報告を受けた(採決なし)						
第10号	平成24年度大牟田市健全化判断比率について							
第11号	平成24年度大牟田市水道事業会計資金不足比率について							
第12号	平成24年度大牟田市公共下水道事業会計資金不足比率について							
第13号	地方独立行政法人大牟田市立病院の業務実績に関する評価結果について							
第14号	地方独立行政法人大牟田市立病院の事業報告について							
第15号	株式会社花ぶらすの事業報告について							
第16号	株式会社花ぶらすの事業計画について							

会派名称	所 属 議 員 (★は会派代表)
自由民主党議員団	光田 茂★、入江裕二郎、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清(議長)、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求め、反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。

本表については、起立した会派(または議員)を○と表記し、着席の会派(または議員)を×と表記しています。なお、空白は欠席または表決の棄権を表します。また、議長は採決に加わるできません。



# 社会保障制度の改悪を許さず 市民生活守る手立てを



日本共産党議員団  
高口 講治 議員

9月9日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1) 国の政治動向と社会保障制度 (2) 憲法改正と歴史認識 (3) 2014年度予算編成 ■2 生活保護制度について (1) 日本と大牟田の生活保護制度の現状と課題 (2) 生活保護制度改正の問題点と影響、対策 ■3 介護保険制度について (1) 大牟田における介護保険制度運用の現状と課題 (2) 介護保険制度改正案の問題点と対策 ■4 公契約条例と入札制度について (1) 公契約条例に関する検討状況と今日的意義 (2) 公契約と入札制度 ■5 世界遺産登録事業について (1) 世界遺産登録事業の現状と課題 (2) 議会報告会における市民意見

## 市長の政治姿勢について

### 国の政治動向と 社会保障制度

**問** 制度改正は市民の負担をふやし、公的責任を放棄するものだと思うが、市長の見解は。

**答** 持続可能な制度確立のために、地方と手順を踏んだ丁寧な協議が必要。市として住民福祉の増進と市民生活の安定に努める。



社会保障制度改悪反対

### 憲法改正と歴史認識

**問** 日本を戦争できる国に変え、平和や自由をうばい、地方自治の仕組みを変えるものだと思うが。

**答** 憲法は国民生活の根幹。民主主義・平和主義・基本的人権の尊重を踏みにじるような改正はできない。国民一人一人が考えるべき問題。

## 生活保護制度について

### 日本と大牟田の生活保護 制度の現状と課題

**問** 本市の生活保護の現状は。

**答** 平成25年7月末の保護受給者

数3,272世帯、4,511人、市民100人当たり3.73人受給。稼働年齢層が増加中で、就労支援など自立支援プログラムにも取り組んでいる。

**問** 受給の権利ある多くの人が救済されていない。手を尽くすべき。

**答** 啓発活動や民生委員活動、法律や実施要項、通達に従って、保護が必要な方には保護が行えるように適正に実施していく。

生活保護の捕捉率(生保基準以下の収入世帯のうち、実際生保を受けている世帯の割合)日本19.7%、独87%、英85%

**問** 保護費削減に対する不服審査請求への対応は、国の通達どおり市窓口でも受け付けるべきでは。

**答** 通達を認識しておらず県の窓口を案内していたが、内容を確認し、趣旨に従い取り組む。

### 生活保護制度改正案の 問題点と影響、対策

**問** 就学援助制度への影響は。

**答** 今回の保護基準見直し水準を適用した場合、約30世帯、50名程度の児童生徒に影響が出る。

**問** 添付書類の義務化は救済すべき人を切り捨て、水際作戦をいっそうひどくすると思うが。

**答** 口頭申請も従来どおり認められる予定であり、運用も柔軟な対応ができるものと認識している。

## 介護保険制度について

### 大牟田における介護保険制度 運用の現状と課題

**問** 上記について聞きたい。

**答** 成果は地域包括支援センター2カ所増設、認知症ケアの取り組み。課題は認定者数と介護給付費の増で、介護予防をさらに進める。

**問** 痰の吸引など医療的ケア研修制度への公的支援が必要では。

**答** まだそこまでの認識がない。

### 介護保険制度改正案の 問題と対策

**問** 法改正への見解と対応は。

**答** 支援の質を確保すべく、全国市長会等を通じて国に要望したい。

## 公契約条例と 入札制度について

### 公契約条例に関する検討状況と 今日的意義

**問** 全国7市で実施。本市でも。

**答** 国の法整備が前提。他都市等を調査し、前向きに検討したい。

## 世界遺産登録事業 について

### 世界遺産登録事業の 現状と課題

**問** 用地取得で失う固定資産税額は市民の知る権利。公表すべき。

**答** 公表することはできない。



## 「えるる」はまちなかから元気を発信する施設 中心市街地活性化にも大いに期待する



公明党議員団  
塩塚 敏郎 議員

9月9日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 現政権に対する期待 (2) 普通交付税の錯誤措置 (3) 福岡ソフトバンクホークス・ファーム本拠地の誘致活動
- 2 中心市街地活性化について (1) 市民活動等多目的交流施設「えるる」の活用 (2) 市と協働するNPO法人の役割
- 3 住み続けたい魅力あるまちについて (1) 定住自立圏構想の展望
- 4 道の駅「おおむた」花ぶらす館の将来の見通しについて

### 市長の政治姿勢について

#### 現政権に対する期待

**問** 参院選の結果、日本経済を本格的に回復させるための政治が整ったと思う。現政権に対する期待、見解を聞きたい。

**答** ねじれ解消により、経済政策や税・社会保障の見直しを初め、防災・減災対策など、国民の生活に直結する政策決定、法案成立のスピードも上がると思われる。

#### 普通交付税の錯誤措置

**問** 予算への影響と財源不足への対応を聞きたい。

**答** 25年度の普通交付税及び臨時財政対策債の決定額が当初予算を大幅に下回り、6億4,700万円の予算割れとなる。この財源不足額の圧縮に全力で取り組む。

#### 福岡ソフトバンクホークス・ファーム本拠地の誘致活動

**問** 市長の強い決意を聞きたい。

**答** 大牟田まちづくり市民会議の総会で、25年度の緊急事業としてファーム誘致に全市一丸となって取り組んでいくことが満場一致で決定された。誘致が実現すれば本市を初め、有明圏域のまちづくりにつながり、子供たちに夢を与え、次世代の育成、地域の一体感、地

域のイメージアップ、にぎわいの創出など、さまざまな効果が期待される。ファームの立地はまちづくりの大きな転機となる。

### 中心市街地活性化について

#### 市民活動等多目的交流施設「えるる」の活用

**問** 将来展望について聞きたい。

**答** 子供から高齢者まで、誰もが集い、交流し、出会い、触れあい、学びあい、つながる中で、市民活動を促進するとともに、にぎわいを創出し、まちなかから元気を発信し、大牟田全体に元気を広げていく施設としたい。



市民活動等多目的交流施設「えるる」

#### 市と協働するNPO法人の役割

**問** NPO法人は、公共サービスの新たな担い手となり、中心市街地活性化には欠かせない。市と協働するNPO法人の役割とは。

**答** 本市には31団体のNPO法人がある。NPO法人は、市民みず

からが身近な問題を自分たちで解決するため、自主的・自発的に立ち上げられた団体であり、行政では十分に対応できないような分野や公共サービスに対し、対応できる強みがある。この強みを生かして、お互いに補完をしながらまちづくりを進めていく。

### 住み続けたい魅力あるまちについて

#### 定住自立圏構想の展望

**問** これまでの総括を聞きたい。

**答** 定住自立圏の取り組みが、開始してまだ2年半程度であり、今後、圏域を拡大した荒尾市・南関町・長洲町との協定項目を追加した定住自立圏共生ビジョンを9月末ごろに変更決定する予定。

### 道の駅「おおむた」花ぶらす館の将来の見通しについて

**問** 経営状況と将来の見通しは。

**答** 近年の経営状況は、近郊の競合施設の影響や客単価の減少など、取り巻く環境は厳しく、21年度から24年度まで4年連続で赤字を計上し、厳しい経営状況にある。

今後とも(株)花ぶらすの再建計画の推進に対し、関係団体との連携による強力な支援を行い、花ぶらす館の円滑な管理運営が継続的に行われるよう努める。



## 三池港の効率を上げるため ヤードの整備と夜間入出港の緩和を



社民・民主・護憲クラブ  
松尾 哲也 議員

9月9日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について（1）福岡ソフトバンクホークスのファーム本拠地の誘致（2）三池港の活用と地域の活性化（3）企業誘致の推進（4）市民活動等多目的交流施設「えるる」の完成と人にやさしい公共施設の考え方 ■2 市立小・中学校の環境整備について（1）小・中学校のエアコン設置（2）学校内の環境整備 ■3 子ども・子育てについて（1）子ども・子育て支援新制度（2）保育士等処遇改善臨時特例事業費 ■4 50年を迎えた三池炭鉱三川炭じん爆発事故について（1）慰霊碑の建立（2）CO（一酸化炭素）中毒患者と大牟田吉野病院（3）追悼集会の企画

### 市長の政治姿勢について

#### 福岡ソフトバンクホークスの ファーム本拠地の誘致

**問** 様々な効果が期待できる上記の取り組みについて聞きたい。

**答** 大牟田まちづくり市民会議を中心に、全市民が丸となって署名活動等に取り組み、全市民が一体となって機運を盛り上げている。

#### 三池港の活用と地域の活性化

**問** コンテナ取り扱い貨物量は20,000TEUを超えようとしているが、三池港7番バースのコンテナ置き場などの港湾施設の整備は、県とどう進めていくのか。

**答** ヤードの整備については、三池貿易振興会やマイポート利用促進協議会と一体となり、早急な整備促進を県へ要望していく。



三池港

**問** 公共埠頭の入出港基準が6,000トンから12,000トンに緩和されたが、6,000トン超船舶の夜間の入出港ができない状況にある。

何が問題なのか。

**答** 港湾管理者の県によると、規制緩和のためには、学識経験者・海事関係者・行政等で構成する大型コンテナ船の入出港に関する専門委員会の設置が必要とのことから、必要な措置が講じられるよう県に要望していく。

#### 市民活動等多目的交流施設 「えるる」の完成と 人にやさしい公共施設の考え方

**問** 所管委員会の内覧会で、多くの指摘・要望が出た。市民・利用者の意見はどのように聞いたのか。

**答** 計画の策定に当たり、地元、ボランティア団体、NPO法人、子育て関係者、青少年教育関係者、公民館サークル等9団体に意見を聞いた。不具合のところがあれば、今後手直しをしていくという基本的な考え方でいきたいと思う。

### 市立小・中学校の 環境整備について

#### 小・中学校のエアコン設置

**問** 近年にない猛暑が続いた。みやま市、八女市、久留米市等で設置が進んでいる。本市の検討状況を聞きたい。

**答** マスタープランに基づき耐震化事業や学校再編に伴う施設整備等に取り組んでいるので、設置を次期総合計画で検討していきたい。

### 子ども・子育てについて

#### 子ども・子育て 支援新制度

**問** 子ども・子育て支援事業計画の策定状況を聞きたい。

**答** 計画策定に必要な調査を行い、計画案を26年10月ごろを目途に作成し、パブリックコメント等を経て26年度末で計画を策定する予定。

### 50年を迎えた三池炭鉱三川炭 炭じん爆発事故について

#### 慰霊碑の建立

**問** 炭じん爆発事故から50年、三川炭跡地に事故の犠牲者の名前を刻んだ慰霊碑建立の要望に対する市長の思いと取り組みを聞きたい。

**答** 三川坑跡活用検討審議会等で三川坑跡の活用策を考えていく中で、対応を検討したい。

#### 追悼集会の企画

**問** 50年を迎えるにあたり、犠牲者のご冥福とCO患者の一日も早い回復を願い、事故を風化させないために、三池炭鉱三川炭炭じん爆発事故から50年を迎えての追悼集会を企画してはどうか。

**答** これまでの慰霊祭開催の経緯等も踏まえ、追悼集会等が行われる場合には、市としてどのような対応ができるか検討したい。





## 中部有明地域の拠点都市としてのまちづくりを



自由民主党議員団  
入江 裕二郎 議員

9月10日 一問一答方式により質問

- 1 中部有明地域拠点都市としてのまちづくりについて
- 2 商業振興対策について (1) 商店街組織力強化 (2) 空き店舗対策 (3) 新総合体育館の建設
- 3 産業振興対策について (1) 有明海沿岸道路の4車線化 (2) 産学官連携の推進
- 4 子育て環境の向上について
- 5 都市計画マスタープランについて (1) 用途地域の見直し (2) 密集市街地の環境改善
- 6 都市防災について

### 中部有明地域拠点都市としてのまちづくりについて

**問** 拠点都市として周辺都市と連携し、どのような施策を進めているのか。また各施策の総合的な評価について聞きたい。

**答** 周辺3市2町とで有明圏域定住自立圏を形成し、圏域内の図書館の相互利用や高齢者等徘徊SOSネットワークの構築、結婚サポートセンターの共同運営、職員研修などの取り組みにおいて成果が得られている。

### 商業振興対策について

#### 商店街組織力強化

**問** 顧客ニーズに合わせ地域に密着した商店街づくりを基本とし、上記の強化を図るとあるが、どのような取り組みを行ったのか。

**答** 商店街組織等によるイベント等の開催、出張商店街などへの支援を行い、国・県等の補助制度の活用や活性化策の検討について指導、助言を行い強化を図ってきた。

し、速度低下や渋滞が発生している。交通量増加を考えると、有明海沿岸道路を早急に4車線化にすることが必要だと思うが、見解は。

**答** 有明海沿岸道路は平成20年3月から順次開通しており、現在の1日当たりの最大交通量は健老IC(インターチェンジ)から大牟田北IC間で開通当初の2倍以上となる約2万台に達している。現在の通行量は2車線での設計基準交通量を大きく上回り、より安全性、走行性を高めるために4車線化の必要性は高まっている。

現在、工事中の大牟田北ICから黒崎ICの4車線化は、9月中に供用を開始すると聞いている。

引き続き国や県に対し4車線化の早期実現を強く要望していく。



有明海沿岸道路

住みたくなるような魅力ある大牟田市とするため、子育て支援をどのように展開していくのか。

**答** 26年度に策定を予定している子ども・子育て支援事業計画を基本としながら、地域のニーズを踏まえた子育て支援を着実に進めていくこととしており、引き続き子育て世帯がより生活しやすい、住みやすい環境づくりに取り組む。

### 都市計画マスタープランについて

#### 用途地域の見直し

**問** 本市商業地域は中心市街地等に集積しているが、郊外の沿道サービス型店舗や大型店の進出等により、空洞化が進展している。本来の商業的な土地利用がなされていない地域は、用途地域の見直しを検討すべきではないか。

**答** 都市計画マスタープランとの整合性を図り、都市計画の継続性や安定性、また私権制限を課す都市計画の性格を踏まえ、不適格建築物の発生など、地域への影響を考慮し、慎重に検討する必要がある。

### 産業振興対策について

#### 有明海沿岸道路の4車線化

**問** 三池港は釜山航路に続いて中国上海航路が開設され、有明海沿岸道路を利用する車両が年々増加

### 子育て環境の向上について

**問** 市民の一番の希望は働く場があるということだが、若者が家庭を持ち、住みつくようにするには、子育て・教育内容・学校施設等の充実が必要だと考える。若い人が

### 都市防災について

**問** 小中学校再編による避難場所減少に対してどう考えているか。

**答** 地域防災計画で、必要に応じ代替施設の設置を盛り込んでいる。



### 小中学校教室にエアコンを

公明党議員団 今村 智津子 議員

9月10日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 三川坑跡の保存・活用について
- 2 教育行政について
  - (1) 快適な教育環境の整備
  - (2) いじめ対策
  - (3) 子どもの読書活動の推進
- 3 妊娠期からの児童虐待の予防について

#### 三川坑跡の保存・活用について

**問** 保存・活用のための財源としての予算確保をどう考えるか。

**答** 保存・活用策の検討には、国の先導的官民連携支援事業を活用する。また、整備等に際しては、議会決議を踏まえ、国・県等の支援を最大限求めながら、本市の負担が極力少なくなるよう取り組む。

#### 快適な教育環境の整備

**問** 小中学校の空調設備整備について本市の考えを聞きたい。

**答** 必要性は十分認識しているが、初期費用やランニングコスト等に多大な経費を要するため、大規模改造事業など、他の学校施設整備計画とあわせて、次期総合計画の中で検討したい。

#### 子どもの読書活動の推進

**問** 学校に図書司書の資格を持った方の採用を増やす考えはあるのか。また任用に当たっての継続性について聞きたい。

**答** 図書事務員の資格や適性、また、配置の継続性、業務内容の見直し等も含め、今後とも十分検討していきたい。



### 市民の声をしっかり伝えながら水道一元化を進めるべき

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二 議員

9月10日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 市制100周年に向けての市長の考え (2) 10年後を見据えたまちづくり (3) 若者の雇用の場の創出
- 2 安心安全のまちづくりについて (1) ため池の安全性と防災対策 (2) 熱中症対策としての町内公民館の活用と助成
- 3 水道一元化について (1) 一元化に向けての進捗状況 (2) 市水切り替えに伴う課題
- 4 グリーンアジア国際戦略総合特区の活用について (1) 現状と今後の課題 (2) 今後の雇用拡大に向けて
- 5 東部地区市営住宅建替事業について (1) 基本的考え方とスケジュール

#### 水道一元化について

**問** 補償給水を打切る日本コークス工業株への市民の不満は根強いので、その声を伝えてほしいが、水道一元化の進捗状況について聞きたい。また、市水切替え後に水道管が破損した場合の対策は、どのように考えているか。

**答** 水道一元化説明会開催通知を

送付した2,023件の内、9月6日現在、市水切替えの申込みが1,706件で84.3%の進捗率である。また、市水切替え後に水道管が破損した場合、切替工事後概ね3カ月の期間を定め企業局で対応する。

#### 東部地区市営住宅建替事業について

**問** 高泉、築島、歴木住宅を取り

壊し高泉に統合すると聞くと、建て替えに当たっての基本的考え方を聞きたい。また、高齢者に配慮した設計となっているのか。

**答** 基本方針として、多様な世代や世帯の混住による地域コミュニティの活性化を図り、建物の長寿命化や維持管理に配慮する。設計では、本市の超高齢社会に伴い、バリアフリー化に配慮する。



### チャンスを活かして元気なまちづくりを

自由民主党議員団 森 竜子 議員

9月11日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 補正予算と普通交付税の錯誤措置 (2) 中心市街地の活性化 (3) 教育予算の現状と教育力アップ (4) 福岡ソフトバンクホークスのファーム本拠地誘致への取り組み
- 2 治水対策について (1) 手鎌南川改修工事の見直し (2) 白川ポンプ場の必要性
- 3 生活保護行政における就労支援について

#### 市長の政治姿勢について

**問** 久留米市は地域の元気臨時交付金を活用し、全小中学校に空調機を設置。約19.1億円は全額が交付金で市の負担はない。本市はなぜこのチャンスに設置する計画をしなかったのか。

**答** 設置費用約9億円のほかにランニングコストも必要。中長期的

な財政計画への影響も考慮し、次期マスタープランで検討したい。

**問** 市長は、教育費は毎年度の平均で一般会計決算額の最低8%を確保すると公約したが、いまだ達成されていない。見解は。

**答** 教育委員会と連携・協議を図り確保に努めたい。公約は確実に実施する。

#### 白川ポンプ場の必要性

**問** 明治・白川地区の雨水対策としての同施設は、平成7年に用地買収されて以来、動きがない。今後の計画は。

**答** 代替施設である大黒町ポンプ場のきめ細かな維持管理で延命化を図りながら、建設に向けて財源の確保等に努めていきたい。



### 市立病院は地域拠点病院としてさらなる連携強化を

自由民主党議員団 山口 雅弘 議員

9月11日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
  - (1) 市政公約の進捗状況
- 2 大牟田市立病院第2期中期目標(案)について
- 3 教育行政について
  - (1) 全国学力・学習状況調査
  - (2) マララ・ユスフザイさんの国連演説

#### 大牟田市立病院第2期中期目標(案)について

**問** 市としてどのようなところを重点項目と考えているのか。

**答** 病院機能が拡大し地域医療の水準の維持向上が図られるとともに、がん診療、救急医療、母子医療をはじめ急性期医療を担う地域の中核病院を目指す同院が、市民に良質で高度な医療を提供できる

よう、次の中期目標の期間中も必要な支援等を行っていく。

学力向上の取り組みに努めたい。

#### 全国学力・学習状況調査

**問** 速報が出たが、本市の状況は。

**答** 市全体の分析を行っているところ。分析結果がまとまり次第所管委員会で報告したい。また結果等が明らかになれば重点化をして

#### マララ・ユスフザイさんの国連演説

**問** 教育長の感想を聞きたい。

**答** 世界各国では歴史や風土、教育制度等に違いはあるが、教育が人をつくっていくという世界共通の普遍的な考えであり、教育の果たす役割、重要性を改めて認識した。



### 市民に負担のかからない行財政運営を

自由民主党議員団 境 公司 議員

9月11日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
  - (1) 福祉行政報告例の報告数値の件
- 2 行財政運営の効率化について
- 3 新大牟田駅並びに周辺の現状と今後の計画について
  - (1) 観光プラザ
  - (2) 新幹線朝市
  - (3) 新大牟田駅の東側、西側の状況
  - (4) 南関大牟田北線の南側農用地の活用計画

#### 福祉行政報告例の報告数値の件

**問** 7億円の普通交付税の錯誤措置の職員措置と財政対策は十分か。財政調整基金活用を含む検討を。

**答** 市長は道義的責任上、10%の期末手当削減、職員には文書訓告と厳重注意を行った。再発防止に努め、以後の財源不足にも市民生活に影響を与えないよう取り組む。

#### 行財政運営の効率化について

**問** 職員配置適正化計画2011では平成28年4月までに145人削減するとあるが、可能なか。

**答** 今後も退職者の数に応じた採用、目標数値を達するための採用抑制等とあわせ、事務事業見直しに取り組み、計画達成を目指していきたい。

#### 南関大牟田北線の南側農用地の活用計画

**問** 当初は上記農用地約11haは住宅地の計画だったが、今後の活用計画は。また、次期基本計画に載せる考えはあるのか。

**答** 人口減、市街化区域編入の困難性や市費負担等を考えると事業実現は困難。次期基本計画掲載は財政計画等を踏まえ検討する。

## インフォメーション

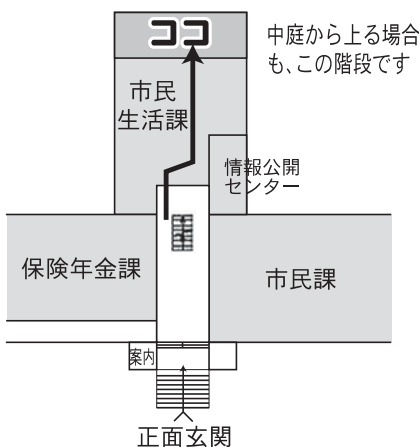
### ■ 次の定例会は12月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

### ■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。議場は市役所本庁舎3階にありますが、議場から傍聴席へは直接行くことができません。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。(右図参照)

傍聴席への階段の位置(本庁舎2階)



### ■ インターネット議会中継

パソコン等でインターネットができる場合は、大牟田市トップページの左下「インターネット議会中継」からご覧ください。

### ■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できます。

ホームページでも12月上旬から閲覧・検索できます。



# 「大牟田産」を食卓や給食で

## ～地産地消をめざす大牟田の農産物～



連載  
おおむた自慢

私たちのふるさと大牟田市は、九州のほぼ中心に位置し、東はなだらかな稜線の山々が連なり、西は有明海に面している温暖な気候に恵まれた街であり、地元で採れた新鮮な農産物を小学校の給食に使うなど、地産地消にも取り組まれています。

生産されているのは、米や麦、大豆、トマト、アスパラガス、タケノコ、ミカン、ブドウ、イチゴ、イチジク、スモモなど幅広く、農産物直売所も賑わっています。

### ■種なし大粒が主流に（ブドウ）



市内では大粒系の巨峰を中心にトンネル栽培が行われており、最近種なし大粒系の栽培に力を入れているそうです。旬は8月上旬から9月上旬です。

おいしい見分け方は、果皮の色が濃い方が甘みが強く、軸が太く緑色のものが鮮度もよいそうです。また皮の表面についた白い粉のようなものは水分の蒸発を防ぐものなので、この粉が万遍なくついての方が新鮮さの目安になります。

### ■県産米「夢つくし」（米）

稲穂の上を新幹線が走るという風景を見ることができ、大牟田市ならではの。小学校の給食でも



大牟田市やみやま市で採れた県産米「夢つくし」を使っています。9月下旬に収穫され、表面に光沢があり1粒1粒の大きさが揃っているものがおいしい見分け方のポイントです。

### ■小粒で味が濃い（ミカン）

北原早生といった早生温州をはじめとしたミカンの栽培も大牟田市は盛んです。

小粒で食べやすく、甘くて味が濃いのも特徴で、そのまま食べるだけでなくジュースやお菓子の材料としても活用されています。旬は12月で、給食にも出されています。

### ■黄色い穂先が美味（タケノコ）

温暖な地域性を活かした早掘りタケノコとしても有名です。より品質のよいものを出荷するため、地

上に出たものを掘り取るのではなく、地中のものを探し出して掘るよう心掛けられているということです。おいしい見分け方は、穂先が黄色く皮につやがあり湿り気のあるもので、穂先が黒褐色のものはえぐみが強いものが多いそうです。



### ■実りの秋を食卓で

これらの農産物は、生産者と消費者の交流を深めながら新鮮なものを提供しようと、農産物直売所でも販売しています。今回、取材協力いただいたJAみなみ筑後の皆さんが田隈にオープンした愛菜館や、道の駅おおむた花ぶらす館朝採り市をはじめ、市内各所で販売されています。



館や、道の駅おおむた花ぶらす館朝採り市をはじめ、

実り豊かな秋。地元で採れた新鮮な農産物を味わってみてはいかがでしょうか。

編集後記

取材先で話を伺ったり、仕事や活動を見せていただくことは、発見の連続です。やりがいや苦労話の中で、私たち議員や議会のあるべき姿も考えさせられます。大牟田の「人」「もの」「風景」「活動」、大牟田の宝に光を当てた紙面づくりを目指します。（あや）

### ■編集 議会報編集委員会

【委員長】吉田康孝 【副委員長】北岡あや  
【委員】大野哲也 平嶋慶二 森 竜子

### ■発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail gikaijimu01@city.omuta.lg.jp